

## はじめに

大分県衛生環境研究センター年報第40号記念特集号の発刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。今年の年報は、40号という節目にあたることから、これまでの10号、20号及び30号に引き続き記念特集号として発刊することとしました。

昭和26年度に当センターの母体となる大分県衛生研究所が発足し、この間、大分市寿町（昭和28年）、大分市芳河原団地（昭和45年）、大分市高江（平成15年）と3度の移転と幾多の組織改正を経て現在に至っています。

この10年間は、本文中の年表に示すように様々な変革を経験しました。

「団塊世代」の相次ぐ退職に加えて、「大分県行財政改革プラン」に基づく業務と人員配置の見直し等により、部制からフラット化による担当制への組織改正を経て、巻末にも職員一覧表を掲載していますが、この10年間で10名以上の職員定数の削減がありました。これに伴い、職員の年齢構成も大きく変わり、若手職員の増加とともに人材育成が喫緊の課題となり、生活環境部人材育成計画等に基づき、効果的な人材育成策を講じることとしました。

また、退職職員の再雇用制度により、試験研究に関して円滑な技術の継承の一端を担う非常勤職員も漸増し、若手職員の人材育成の支えとなっています。

一方、この10年間は、県民の安全、安心を脅かす事象が続発した時期でもあります。平成16年に大分県で初めての高病原性鳥インフルエンザ発生、19年の中国産ギョーザの農薬混入問題、県内初の光化学オキシダント注意報発令、21年の新型インフルエンザ発生、22年の口蹄疫・鳥インフルエンザ発生、23年の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の放射性物質飛散事故、25年のマダニを介した新種の感染症（重症熱性血小板減少症候群：SFTS）の発生やPM2.5の大陸からの越境汚染問題など、県民の安全、安心を確保するため、行政機関と緊密な連携を図りながら、試験検査、監視強化及び調査研究にできる限りの力を傾注してきました。

このような状況に的確に対応するためには、迅速かつ信頼性のある試験検査結果の提供に加えて、検査効率の向上に繋がる調査研究等が求められています。調査研究については、より客観的な評価を行うため平成16年に外部評価委員会を設置し、行政需要に応え、県民の安全と安心に繋がる調査研究に資することを目指しています。

当センターは、今後も向上発展の途上にあることを自覚して、職員が一丸となって新たな課題に対応し、時代の要請に応えることにより、公的試験研究機関としての役割を果たして参りたいと考えていますので、皆様のより一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

この年報は、平成24年度の試験検査及び調査研究業務を中心にとりまとめものです。ご高覧のうえ忌憚のないご意見ご提言をお寄せいただければ幸いに存じます。

平成25年11月

大分県衛生環境研究センター

所長 山村 壽史

# 目 次

■ 記念特集：「センターの歩み」 .....	1
1 沿 革 .....	21
2 組織及び分掌事務 .....	21
3 職 員 .....	22
4 施 設 .....	23
5 経理執行の状況 .....	23
6 主 要 機 器 .....	26
7 業 務 概 要 .....	29
8 研 修 状 況 .....	38
9 調 査 研 究 .....	39
(1) 報 文 .....	
1) LC/MS/MSによる動物用医薬品の簡易一斉分析法検討 .....	39
2) 大分県における浴用水中のレジオネラ属菌の検出状況（2010～2012年度） .....	46
(2) 調査・事例 .....	
1) 久住地域における乾性沈着物中のイオン成分の特性について（2012年度） .....	53
2) 大分県における大気中の硫酸イオン濃度調査（2012年度） .....	62
3) 大分県における温泉の泉質について .....	67
(3) 資 料 .....	
1) 食品の理化学的検査結果について（2012年度） .....	73
2) 九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型の推移と 薬剤感受性について（2012年） .....	75
3) 感染症発生动向調査からみたウイルスの流行状況（2012年） .....	83
4) 感染症流行予測調査について（2012年度） .....	86
5) 食品の微生物学的検査成績について（2012年度） .....	88
6) 大分県における雨水成分調査（2012年度） .....	91
7) 大分県内における大気中の水銀及びその化合物の濃度について（1998～2012年度） .....	105
10 学 会 発 表 等 .....	109
■ 記念特集：学会発表等一覧（2002年度～2011年度） .....	113
■ 記念特集：職員録（2003年度～2013年度） .....	124

## CONTENTS (Research)

### (1) Original

- 1) Study on rapid simultaneous analysis of Veterinary drugs by LC/MS/MS ..... 39
- 2) Isolation of *Legionella* Species from Public Bath Water in Oita Prefecture, 2010-2012 ..... 46

### (2) Report and Case Study

- 1) Ion Components Property in the Dry Deposition at Kuju Area, 2012 ..... 53
- 2) Survey of Sulfate Ion in the Atmosphere at Oita Prefecture, 2012 ..... 62
- 3) For Nature of Hot Spring in Oita Prefecture  
-Characteristics of each Region's Spa as Seen from the Definition and Classification of Hot Spring- ..... 67

### (3) Technical Data

- 1) Chemical Examination of Distribution Foods in Oita Prefecture, 2012 ..... 73
- 2) Serotype and Drug Susceptibility of Group A Hemolytic Streptococci Isolated in Kyushu Area, 2012 ..... 75
- 3) Report on Isolation of Viruses in Oita Prefecture, 2012 ..... 83
- 4) Surveillance of Vaccine-preventable Diseases, 2012 ..... 86
- 5) Microbiological Examination of Foods, 2012 ..... 88
- 6) Ion Components of Rainwater in Oita Prefecture, 2012 ..... 91
- 7) The Mercury Concentration of Air in Oita Prefecture, 1998-2012 ..... 105